

「新宿区景観形成ガイドライン」の一部改定（素案）

「新宿駅周辺地区歌舞伎町一丁目エリア」について、「歌舞伎町一・二丁目地区まちづくり誘導方針」の平成21年11月の改定を踏まえ、図表7「新宿駅周辺地区歌舞伎町一丁目エリア」のとおりとします。

景観形成ガイドライン「新宿駅周辺地区歌舞伎町一丁目エリア」新旧対照表

	改定素案	現行
景観形成の方針	3. シネシティ広場を中心とした魅力ある <u>野外劇場的都市空間</u> を演出する。	3. シネシティ広場を中心とした魅力ある <u>劇場街</u> を演出する
景観形成の方針	<u>シネシティ広場へ向かう主要動線であるセントラルロード</u> では、 <u>野外劇場的な雰囲気</u> の演出や快適な歩行者空間の形成を図る。	<u>シネシティ広場や劇場街へ向かう主要動線であるセントラルロード</u> では、 <u>劇場街の雰囲気</u> の演出や快適な歩行者空間の形成を図る。
具体的な方策	削除	<u>劇場街を印象づける映画・舞台広告を工夫する。</u> <u>シネシティ広場周辺では、広場を囲む周囲のまちなみとの調和を考え、劇場街を印象づける映画・舞台広告を工夫する。</u>

10-1 歌舞伎町一丁目エリア

歌舞伎町エリアは、明治時代には旧大村藩主の別邸があり、大正時代には府立第五高等女学校が建てられました。太平洋戦争では一面焼け野原となったものの、戦災復興でエリア全体の区画整理が行われ、「市民交歓の場」としての広場(現シネシティ広場)やT字型街路など先駆的な都市計画がなされました。また、世界的にも有数の娯楽・繁華街となっています。



景観特性

歌舞伎町に隣接する西武新宿駅は、駅舎の煉瓦色のタイルや街路灯により落ち着いた景観をつくっています。



靖国通りからエリア内の入り口にゲートが設けられている場所もあり、通りの個性を演出しています。



新宿区役所の外構や区役所通りでは、居心地のよい景観づくりが必要です。



中層で間口もさほど大きくない建築物の規模が、人付き合いを基本とする歌舞伎町らしい商売を支え、賑わいを生み出しています。また、小規模な袖看板の集まりが、賑やかな歌舞伎町独特の景観を創出しています。



大衆文化の発信地である歌舞伎町のシンボルとなるような空間の創出を図る。



1.特徴ある街路空間



意図的な都市計画によりつくられたT字路によって、一体感の感じられる道路基盤があります。そのためまちなみの賑わいが周囲に散逸しないことが最大の特徴となっています。しかしながら、各通りごとの特徴は現在薄くなり、エリア全体として同質化が進んでいます。

2.市民交歓のための広場



日本における広場は、駅前広場や交通広場が大多数を占めており、シネシティ広場のような、市民の交歓を目的として設計された広場は希少です。周囲を取り囲む建築物の低層部は、広場を意識した開放的な意匠とすることが必要です。広場空間も、滞留したくなる工夫が必要です。

3.繁華街と区役所通り周辺の対比



世界的な繁華街の中に、区役所や都電線路跡である四季の路(新宿遊歩道公園)があります。繁華街の中の貴重な公共的空間となっています。

景観形成の目標

誰もが歩きたくなる楽しいまちなみ“歌舞伎町”へ

戦後の戦災復興区画整理事業を経て、繁華街として一時代を画した歌舞伎町を新しい時代の繁華街として再生させる。

景観形成の方針

1. エンターテイメントシティ「歌舞伎町」を演出する

景観形成の考え方

現在のまちの賑わいを損なわない演出を行う。

具体的な方策

- 形態意匠および色彩は周囲の賑わいを損なわないものとする
- 夜の照明は、華やかな賑わいを連続させるものとする
- 西武新宿駅前の広場は、滞留空間と歩行者動線を確保する

■西武新宿駅前の広場



2. T字路をいかした迷宮的楽しさを演出する

景観形成の考え方

エリア内に多く存在するT字路をいかして、各通り(1番街・セントラルロード・さくら通り・えび通りなど)の個性を演出する。

具体的な方策

- アイストップとなる場所では、積極的にまちに対して楽しさを提供する
- 靖国通り沿いの角地に位置する場所では、エリアの入り口にふさわしい形態意匠および色彩とする
- 各通りの角地に位置する場所では、通りのイメージを特徴づける工夫をする
- 壁面線の連続性に配慮する
- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する

■T字路をいかす

アイストップに開口部を設けたり、意匠的な配慮をする



■靖国通りから歌舞伎町への入り口



3. シネシティ広場を中心とした魅力ある

野外劇場的都市空間を演出する

景観形成の考え方

「シネシティ広場へ向かう主要動線であるセントラルロードでは、野外劇場的な雰囲気演出や快適な歩行者空間の形成を図る。」

具体的な方策

- シネシティ広場周辺では、低層部は広場とのつながりを感じられるような開放的な意匠とする
- セントラルロードでは、街路樹の整備などを行い、快適な歩行者空間の形成を図る

4. みどり豊かで賑わいのある四季の路の景観をつくる

景観形成の考え方

みどりの豊かな四季の路沿いに、みどりと調和し心地よい賑わいを感じられるまちなみをつくる。

具体的な方策

- 四季の路から見える場合は、みどりと調和する落ち着いた色彩や素材とする
- 四季の路沿いでは、四季の路に対して正面性をもたせる
- 四季の路沿いでは、四季の路の緩やかなカーブが感じられるよう間口を分節する
- 室外機等の設備機器は、四季の路から直接見えないようにする
- 区役所通りや四季の路沿いでは、四季の移ろいを感じさせる工夫をする(花いっぱい運動やイルミネーションなど)
- 区役所通り沿いでは積極的に緑化を行い、快適な歩行者空間をつくる